

愛知県保険医協会

学生会員ニュース No.51

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

いよいよ夏本番、熱中症に気をつけてお過ごしください。

さて、今回は4月から始まった「新専門医制度」について取り上げました。

皆さんからの感想等お寄せいただければ幸いです。



新専門医制度で研修はどう変わるの？

新たな専門医制度による研修が2018年4月から始まりました。この研修は、卒後2年間の法に基づく臨床研修（初期研修）修了後から対象となります。これまでの専門医認定は、各学会が認定し、研修医が個別に研修施設を選択するもので、研修期間や研修病院に制限はありませんでした。しかし、各学会がバラバラに認定するのでは、専門医の質の確保に差が出てしまうなどの意見があり、今後は「日本専門医機構」が認定する研修病院で3年以上の研修を行うことになりました。

新専門医制度の研修を受けるには？

新専門医制度の研修では、右図のような19の基本領域から1つを選択する必要があります。研修は「プログラム制」が基本で、定められたスケジュールに従い、基幹施設を中心に関連施設を回り3年以上の研修を受けます。基本領域の専門医を取得後（並行取得も可能）、サブスペシャリティ（29領域・変更可能性あり）を選択する

基本領域専門医（19領域）	サブスペシャリティ領域専門医（29領域）
<ul style="list-style-type: none"> 総合診療 リハビリテーション科 形成外科 救急科 臨床検査 病理 麻酔科 放射線科 脳神経外科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 産婦人科 整形外科 外科 精神科 皮膚科 小児科 内科 	<ul style="list-style-type: none"> 消化器病 循環器 呼吸器 血液 内分泌代謝 糖尿病 腎臓 肝臓 アレルギー 感染症 老年病 神経内科 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 リウマチ 小児循環器 小児神経 小児血液 がん 周産期 婦人科腫瘍 生殖医療 頭頸部がん 放射線治療 放射線診断 手外科 脊椎脊髄外科 集中治療

る2段設計となっています。眼科など基本領域のみでサブスペシャリティが設けられない科もあります。

新専門医制度、始まってどうなの？

新たな専門医制度の始まる今年4月を前に、m3.com（医師向け最新医学・医療情報サイト）が1期生に当たる医師296人（当時・卒後2年目/m3.com医師会員）に行った調査があります。その中で、専門医の登録・プログラム登録への率直な意見が寄せられています。

《新専門医制度の改善点》

改善点として多かったのは「研修プログラム制と研修カリキュラム制（期間の定めがなく、カリキュラムの目標に達した場合に専門医試験を受験可能とするもの）を柔軟に選べるようにする」58.3%、「複数専門医取得を容易にする」51.8%など。他に「基幹・連携施設を回る循環型研修の緩和・廃止」38.8%、

「研修期間の短縮化」38.8%、「出産育児・介護などによる研修中断者への対応」37.7%などライフプランへの配慮や女性医師等も選択しやすいような柔軟な研修を望む声が多くありました。

《新専門医制度の影響は?》

新専門医制度の影響として当てはまるか聞いた結果、「当てはまる」「やや当てはまる」の合計が多かったのは、「マイナー科志向が強まる」73.9%、「大学病院志向が強まる」72.1%、「都市部志向が強まる」67.0%で過半数を超えました。さらに「マイナー科志向が高まる」原因として、新専門医制度の「内科専門医」への影響を聞いたところ、「内科専門医の取得の要件が厳しくなった」22.7%、「サブスペシャリティにすぐに進めず、総合内科の研修が必要となった」20.3%、「一人前になるのに時間がかかる」18.7%などの回答が多くありました。

専門性の向上は望まれることですが、「研修ローテート（関連施設を回り研修）の負担がかなり大きく、マイナー科に転向した」など新専門医制度の創設によって希望する道を変更したり、希望するプログラムを受けられない人も出ています。結婚や出産などのライフイベントとも重なる時期でもあり、研修医の自主性と条件を尊重した柔軟な制度へ改善が望まれます。



また、医師個人への負担だけでなく、眼科・耳鼻科、皮膚科などへの志向が高まり、今後、内科や外科の専門医が確保できるか、基幹研修施設の多い大都市へ研修医が集中し地域医療確保に影響が出るのではないかなど社会的な影響の大きさも懸念されています。協会では新研修医制度について、現状を知り改善を求めていくために学習会や勤務医の会での意見交流を行い、制度の改善へ働きかけていきます。

FAX : 052-834-3512
E-mail : aichi-hkn@doc-net.or.jp

お名前	
ご連絡先	住所 TEL 又は E-mail
◎ご意見・質問、取り上げて欲しい話題等、ぜひなんでもご記入ください。	